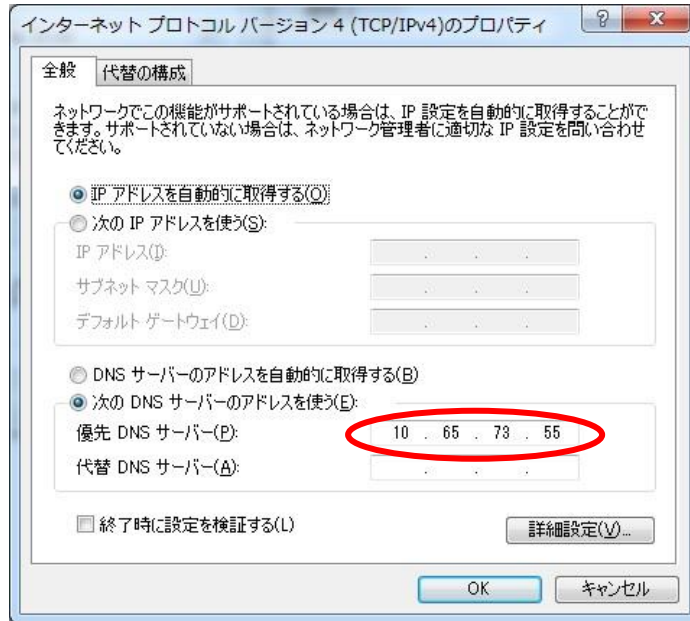


(4)クライアントの DNS 指定

DNS はすでに 「NT43 Linux 資料 27 DNS 設定その 2(10 月 16 日改訂版) 」で作成済み、なので確認のみ
 ※設定を戻している方はもう一度以下の様に設定

※課題 No.08 あり！

クライアント PC の DNS を Linux に指定



※優先 DNS は自分の Linux の IP アドレス(例：10.65.73.出席番号+100) ←先に確認する事！

◎DNS の動作確認 クライアント(MAC)の DNS 設定

- 1.Mac でアップルメニュー → 「システム環境設定」と選択し、「ネットワーク」をクリック
- 2.左側のリストから、インターネットへの接続に使用するサービス (Ethernet など) を選択
- 3.使用する DNS サーバの IP アドレスが、「DNS サーバ」フィールドに正しく入力されていることを確認

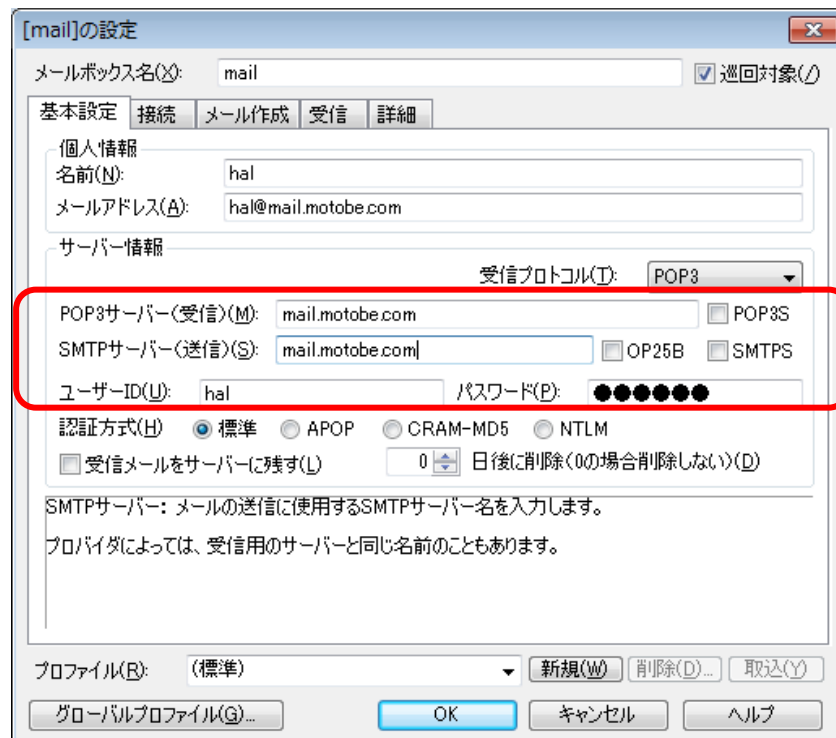
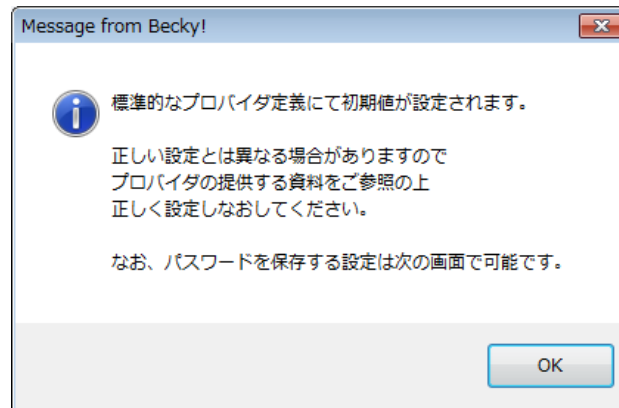
(5)クライアントメールソフトの設定

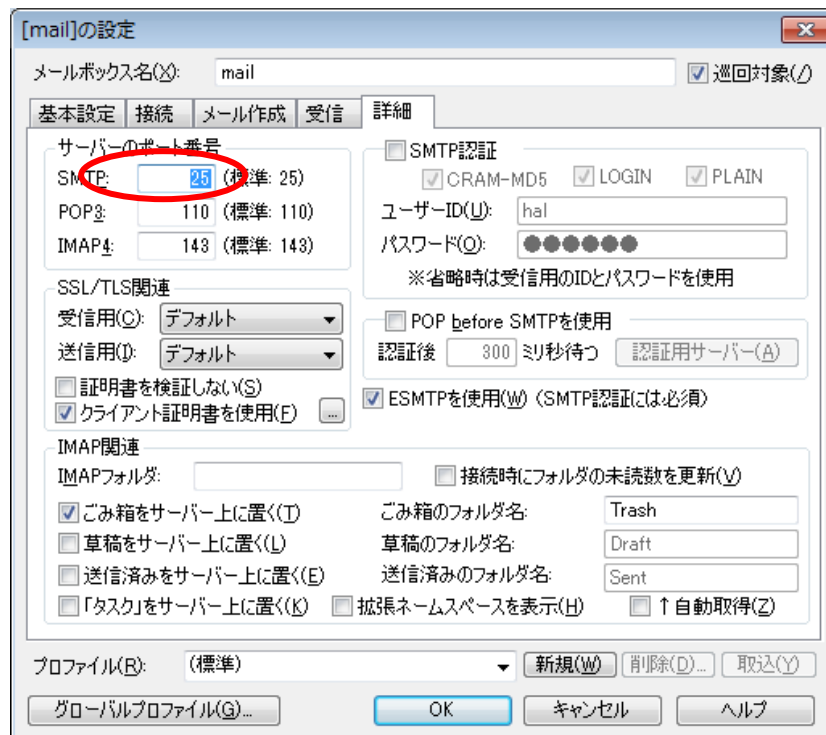
送受信確認はどのクライアントメールソフトでも構いません。

今回は共有フォルダに「Becky! Ver.2」(bk27403j.exe : Windows 用)を用意しました。確認後アンインストールすれば良いです。MAC の方は…何か適当なものを探して下さい(+o+)

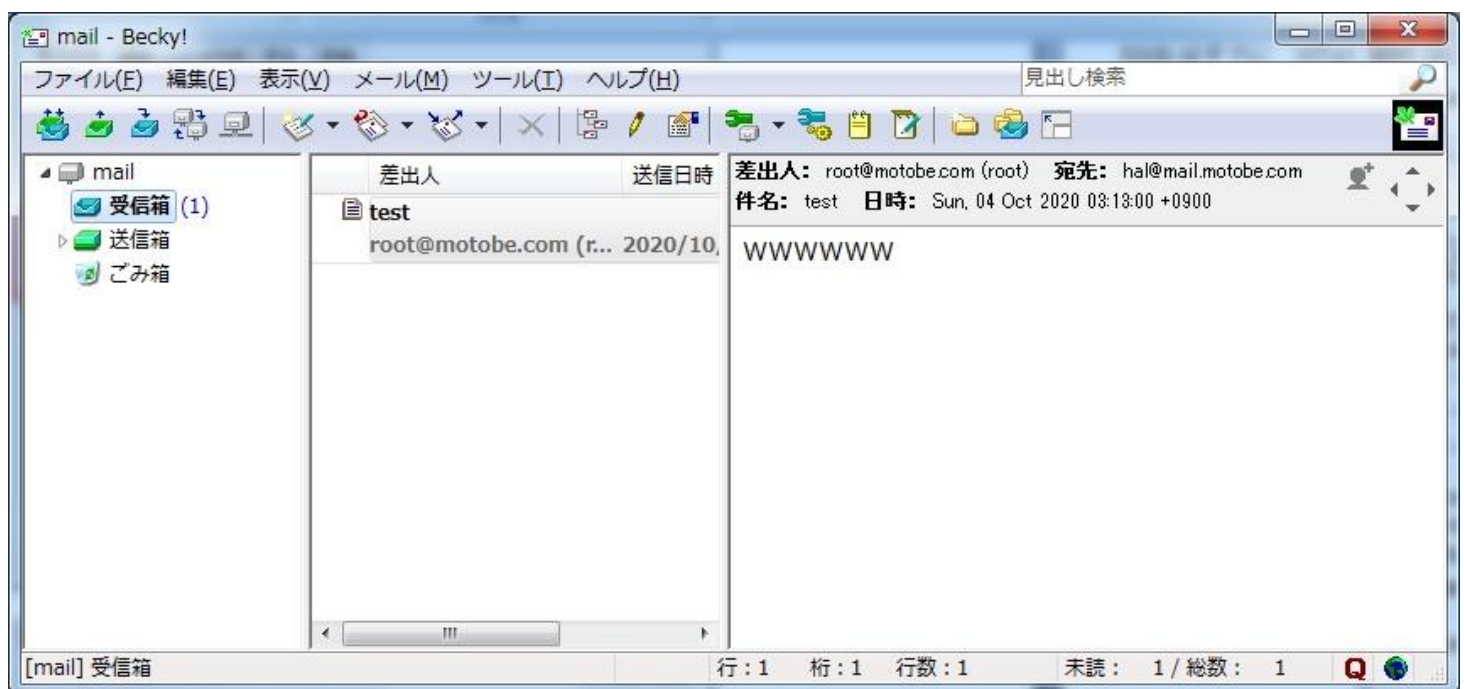
①設定例(Becky!)

- 1.インストール
- 2.「OK」をクリックして行けば良いです



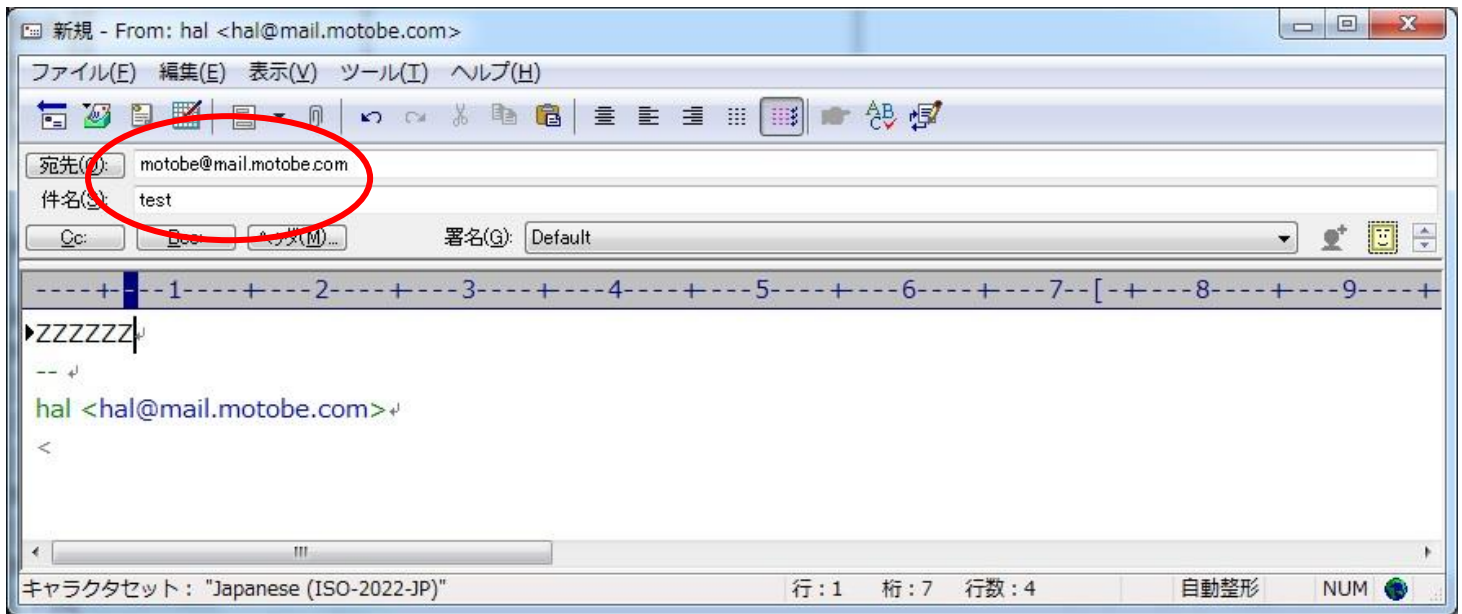


※ユーザ ID は Linux のユーザ名、パスワードは Linux のログインパスワード



root から mail が来ている事の確認できます

※上手く行かない方は P13 の「(7)トラブルシューティング」を確認



motobe@mail.motobe.com に mail を送る

```
[root@motobe ~]# su - motobe
```

```
[motobe@motobe ~]$ mail
```

Heirloom Mail version 12.5 7/5/10. Type ? for help.

"/home/motobe/Maildir": 1 message 1 new

```
>N 1 hal Sun Oct 4 03:34 20/638 "test"
```

```
& 1
```

Message 1:

From hal@mail.motobe.com Sun Oct 4 03:34:00 2020

Return-Path: <hal@mail.motobe.com>

X-Original-To: motobe@mail.motobe.com

Delivered-To: motobe@mail.motobe.com

Date: Sun, 04 Oct 2020 03:34:00 +0900

From: hal<hal@mail.motobe.com>

To: motobe@mail.motobe.com

Subject: test

Content-Type: text/plain; charset="US-ASCII"

X-Mailer: Becky! ver. 2.65.04 [ja] (Evaluation)

Status: R

ZZZZZZ

--

hal<hal@mail.motobe.com>

& q

Held 1 message in /home/motobe/Maildir

[motobe@motobe ~]\$

hal@mail.motobe.com (Windows クライアント)から送られた mail を確認できた！

(6)存在しないユーザー宛メールの破棄

メールサーバーは、存在しないユーザー宛メールを受信すると、宛先不明による不達メールを送信元へ返そうとするが、送信元を偽装した迷惑メールが存在しないユーザー宛にわざと送られてくる場合があり、この場合、送信元が偽装されているため、不達メール自体が不達となってしまう、メールがキューに滞留してしまう（mailq コマンドで確認可能）。

最終的に不達メールの送信を一定期間繰り返して破棄するが、このような迷惑メールが大量に送られてくると、キューにメールが大量にたまり、たまった大量の不達メールの再送処理により、**サーバー自体が高負荷状態に陥って機能しなくなる恐れがあるため、存在しないユーザー宛のメールは破棄する**ようにする。

```
[root@motobe ~]# vi /etc/postfix/main.cf
```

※以下を最終行へ追加(存在しないユーザー宛メールを unknown_user へ配送)

```
local_recipient_maps =
user_relay = unknown_user@localhost
```

```
[root@motobe ~]# echo unknown_user: /dev/null >> /etc/aliases
```

← unknown_user 宛メールを破棄

```
[root@motobe ~]# newaliases
```

← /etc/aliases 変更反映

```
[root@motobe ~]#systemctl restart postfix
```

変更した場合は設定を有効にする為、サービスを再起動

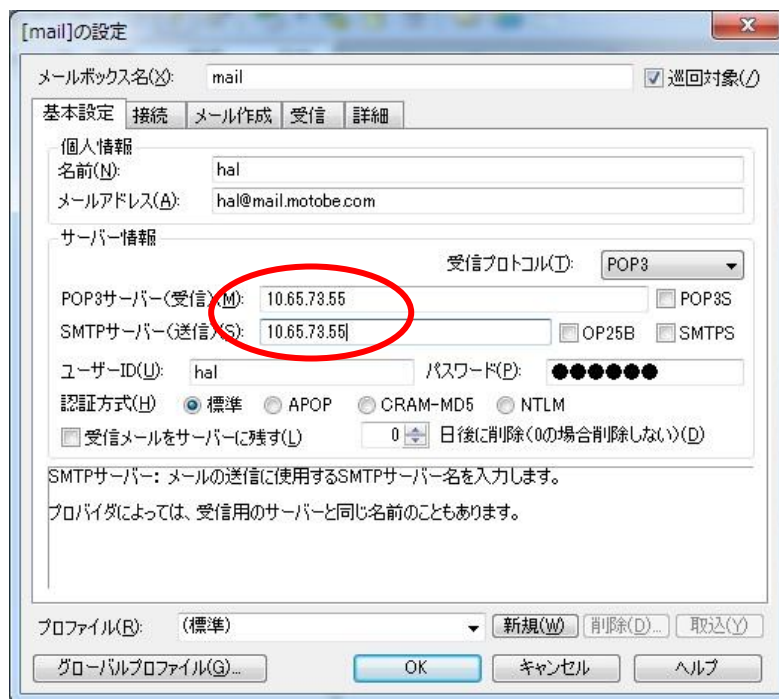
●実際に存在しない mail アドレスに送って mail ログを確認しましょう！

```
[root@motobe ~]# cat /var/log/maillog
```

(7)トラブルシューティング

状況確認

- Windows や MAC と Linux 間で ping が飛ぶか？ ←メール設定以前の問題
- Windows や MAC と Linux のファイアーウォール確認 ←メール設定以前の問題
- DNS が起動しているか？ ←named を起動(再起動)
- クライアント PC の優先 DNS の設定が間違っていないか？ ←P8 の(4)
- DNS サーバが完成していない場合 mail サーバの設定を IP アドレスにしてみる



- 各種設定を目を皿(笑)にして、もう一度確認！
- mail サーバ(postfix、dovecot)の再起動
- mail ログの確認 ←何がダメなのかを確認

```
[root@motobe ~]# cat /var/log/maillog
```

でエラーメッセージ(トラブルの具体的な内容)を確認して下さい。 ←まだ少し難しいかも…

メールサーバの構築をしましたが実務においてはセキュリティ上、各社で構築するよりプロバイダに依頼したほうが良いです。特に中小企業の場合。

しっかり設定しておかないと直ぐにスパムメールの温床になってしまいます！

●課題 No.08

課題：訓練課題

主題：「mail サーバ」

日付：11 月 6 日

教員：元部 重和

確認事項：サーバとクライアント間での mail の送受信を見せて下さい

※MAC の方(Windows の方もどうしても無理なら)は良いメールソフトが無いのなら、

Linux 上で root と hal のやり取りを見せてくなくても可

以上！